

まちづくり



地方自治を取り巻く環境は、新たな世紀を迎えますますます混迷を極めております。このような時にこそ、本当の豊かさや魅力を創り出すまちづくりを進めなければなりません。そのことを瀬棚町の進むべき道として、「町民とともに、自らの手で創るまちづくり」を合言葉に、その具体的な取り組みのため、次の4点を目標に今年度のまちづくりを進めていきます。

1 個性ある元気な
産業づくりをめざす

2 明るくふれあう
健康づくりをめざす

3 快適で美しい
環境づくりをめざす

4 未来を拓く
人づくりをめざす

そこで、今年1年、瀬棚町ではどんな仕事をするのか、平成15年度予算特集「町民とともに、自らの手で創るまちづくり」を通し、瀬棚町の姿を見てみましょう。

平成15年度予算特集

町民とともに、自らの手で創るま





ついに動き出す 洋上風力発電事業

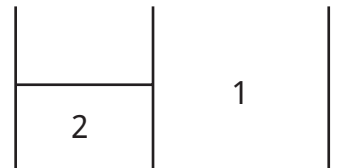
構想から5年、さまざまな調査と各関係機関からの支援や町民皆さんのご理解により、本年度、いよいよ日本初の洋上風力発電施設建設という大きな夢が現実のものへと動き出します。

工事は、今月より開始され瀬棚港内に出力600キロワットの洋上風車2基を設置します。

完成は9月下旬を予定しており、その後、試験運転を行い平成16年4月には北電への売電も行います。

売電の収入については、年間約5千500万円を見込んでおり、維持費や起債の償還費などを差し引いた収益を年間約2千万円見込んでいます。

また、洋上風車の建設ということで、今後、視察や観光などといった人の入り込みが増えることや、新たな産業の参入、試験的な事業の実施などさまざまな二次的効果が期待されているところです。



①洋上風力発電施設完成予想図
②静穏海域での養殖事業（写真はクロソイの中間育成）

個性ある元気な 産業をつくる

地域経済の柱である農林水産業、商工業、観光業などの振興に努めます



2



つくり・育てる漁業へ

瀬棚町の基幹産業の一つである漁業。現在、「つくり・育て・売る漁業」へと生産者・漁協・行政が一緒に取り組んでいます。その核となるのは今年で地方港湾の指定から50年を迎える瀬棚港です。

港づくりは国の直轄事業ですが、町も事業費の一部を負担しています。今年度の整備については、東外防波堤と南砂防堤の延伸を行うほか、各漁港についても計画的に整備をしていきます。

静穏海域での増養殖事業については、現在、ウニ種苗とクロソイの中間育成、アワビ稚魚の養殖が行われており、また、本格的な展開へ向けた取り組みとして、専門機関の指導を受けながら、魚礁や養殖籠などの試験段階に入っているところです。

今年、新規事業として、これまで餌用として生産してきたコンブの養殖技術を活用し、食用の促成コンブの養殖試験「真コンブ養殖試験事業」（事業主体：ひやま漁協瀬棚支所）を須築漁港新港で行います。そして、引き続き「クロソイの中間育成事業」（事業主体：ひやま漁協）や「アワビ人工種苗購入事業」（事業主体：ひやま漁協瀬棚支所あわび養殖部会）などの増養殖事業についても積極的に進めていきます。

また、冬期間に來遊するトドによる刺網などへの被害を未然に防止するための対策も講じて行きます。



1



3



2

消費者の視野に立った 農業振興策

以前より瀬棚町では、安心して安全な食べ物を求めている消費者の視野に立った農業振興策を推進し、有機農業や特産品の開発などさまざまな取り組みを行っているところです。

その中で、今年についても平成13年度から行っている「クリーン農業等推進事業奨励金」制度（平成17年度まで）により、農業者へ対する支援を行っていくほか、町内や町外への消費拡大に向けて取り組んでいきます。

林道（大里線）を開設

山林については、近年の環境問題の中で、その果たす役割が大変大きいことから、町有林・一般民有林の計画的、継続的な維持増進に努めているところです。今年度においては、大里地区の町有林の維持管理を円滑に行うために新しく林道を開設します。

商工会館の建設を支援

以前より検討されていた商工会館について、本年度、商工会で旧瀬棚郵便局舎を取得し、改築することから、その建設について支援していきます。

総事業費は1千400万円で、そのうち補助金が580万円、道補助金が536万円、自己資金が284万円となっております。

雇用促進事業を 引き続き実施

長引く不況による緊急雇用対策として、本年度も引き続き雇用創出のための雇用促進支援事業を実施するとともに、新規就労者への支援も行っていきます。

今年度は、「海岸環境緊急保全対策事業」、「教育の森遊歩道草刈等整備事業」、「お魚をまもる森と川の環境づくり事業」を予定しております。また、町内に住所がある方を雇用した事業所に対する支援策「雇用促進支援奨励金」事業についても引き続き行っていきます。



主な仕事

[水産]

港湾整備事業への負担1億2,000万円 各漁港の船揚場土砂除去30万5千円 サケ海中飼育50万円 ウニを浅いところに移す(キタムラサキウニ)180万円 ウニ種苗放流(エソパフウニ)105万円 静穏海域養殖事業調査44万8千円 ウニ種苗中間育成(エソパフウニ)49万8千円 アワビ人工種苗購入239万3千円 クロソイ中間育成306万1千円 食用真コンブ養殖試験20万4千円 スケソウダラ資源調査40万円(太櫓水垂沖) トド被害防止対策6万7千円 漁協経営再建特別合併対策141万2千円 サクラマス資源増大スモルト放流66万1千円 密漁防止対策140万3千円 ヨド海岸密漁対策・ウニ種苗放流21万円(1万個) 水産業振興基金貸付金150万円 水産関係団体等への活動助成23万2千円

[農業]

国営土地改良北檜山右岸地区事業の負担金など359万1千円 農業関係団体等への活動助成47万6千円 酪農ヘルパー導入に関する助成など209万7千円 加工センターでのアイスやバターづくりなど3,132万5千円 農業生産活動事業費1,095万7千円(中山間) 農協広域合併に係る農家販売手数料助成金1,000万円 クリーン農業等の推進330万円 生活環境保全林周辺維持管理77万7千円

[林業]

21世紀北の森づくり118万5千円 町有林の維持管理207万7千円 東大里地区の町有林造成361万5千円 茂津多林道の維持管理54万円 森林整備地域活動支援交付金292万2千円 植樹事業45万4千円 森林管理道大里東線開設3,505万円

[商工観光]

商工会活動への助成885万円 中小企業特別融資利子補給事業160万円 商工業関係団体への活動助成30万円 商工会館建設経費助成580万円 観光協会活動への助成300万円 せたな漁火まつり助成400万円 自然公園維持管理574万4千円 青少年旅行村運営事業費764万2千円 レインボー王国「ぐるっと狩場山放映事業」助成10万円

[労働]

季節勤労者就労前健康診断など34万9千円 雇用促進支援事業862万1千円

[産業担い手]

新規産業就業者支援奨励金45万円 後継者就業準備奨励金 150千円 産業の担い手対策12万円

[まちづくり活動]

まちづくり活動に助成500千円

[洋上風車]

洋上風車の建設(風車2基)6億9,633万9千円 パンフレットやビデオなどの普及啓発1,209万5千円



4	1
	3 2

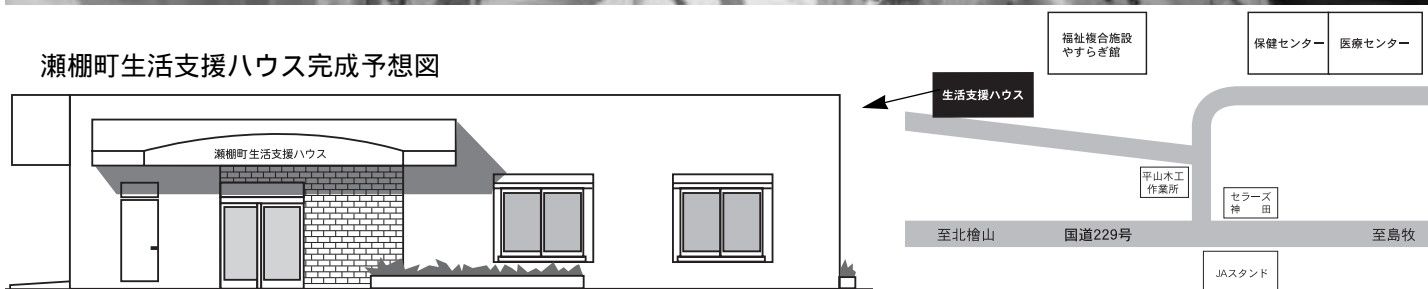
- ①アイガモ農法による有機無農薬米の栽培
- ②町内商店で有機野菜を販売
- ③平成13年に緊急雇用対策として行った木の伐採作業
- ④商工会館として改築することになった旧郵便局舎





パークゴルフ大会、芸術鑑賞、体験実習、修学旅行のほか、各種講座などの多彩なカリキュラムを用意している寿大学（おおむね60歳以上対象）

瀬棚町生活支援ハウス完成予想図



保健・医療や生涯学習などと連携し、介護予防や生活習慣の見直し、体力づくりを進めながら、町民の皆さんが明るく安心して暮らせるまちづくりを進めます

健康をつくる

介護保険制度に対する生活支援策

介護保険業務は今年3月より広域行政推進の一環として、檜山北部4町による広域連合により運営が開始されましたが、今後も皆さんに満足したサービスを受けられるよう、サービスの供給体制を整えていきます。

また、これまでと同様にサービス利用料の軽減措置を行うっていくとともに、新たに高齢者の中で所得が低い方に対する生活支援策についても配慮していきます。

高齢者のための生活支援ハウスを建設

少子高齢化と核家族化が進む中で、養護老人ホームの充実（今年度は浴室などを改修）とともに、高齢者の皆さんが安心して健康で明るい生活を送れるよう、介護支援機能、居住機能、交流機能を総合的に提供できる、ケア付の共同生活施設「生活支援ハウス」を本年度建設します。

また、痴呆の高齢者を対象とした「グループホーム」の整備についても、今後検討していきます。

学童保育所を開設

昨年、新たに児童保育課を瀬棚保育所へ設置し、保育環境や子育て支援、児童の生活環境の一層の強化を進めているところです。

その中で、今年度より病气や旅行の際に保育所へ短期入所できるよう一時保育業務を実施するとともに、学校週5日制の導入を契機に、児童の放課後対策として「学童保育所」を開設します。

医師が二人体制に

医療センターでの地域に根ざした医療活動、病気になるための保健予防活動は、先進的な取り組みとして高く評価され、多くの町民の皆さんにご利用していただいているところです。

さて、町民皆さんの願いであった医科診療所医師2人体制については、以前より自治医大に要請しておりましたが、4月より新しく吉岡医師が派遣され、医師が2人体制になったことで、医療基盤が一層安定し、健康で安心して暮らせるまちづくりが推進されるものと期待しております。

新しい先生をご紹介します!!
皆さんよろしく
お願いします!!



瀬棚町国保医科診療所副所長（医師）

吉岡 和晃（よしおか かずあき）

▶この4月から診療所で働いている吉岡和晃と申します。昔から北海道が好きで、大学時代を札幌で過ごし、今回8年ぶりに北海道に戻ってきました。家族は4人で妻と子ども2人です。医科診療所は医師2人体制となりました。今後も町民の皆さんの健康維持に努め、もしも病気になったときには、良質の医療が提供できるように努力したいと考えております。今後とも瀬棚国保医科診療所をよろしくお願ひします。

生年月日/昭和44年12月13日 血液型/A 出身地/新潟県上越市
趣味/旅行、温泉めぐり、ドライブ、スポーツ観戦、将棋
特技/バレーボール、サッカー、寝ること
長所/無いですね 短所/忘れっぽいこと。世間知らず。

【経歴】▶平成元年4月：北海道大学医学進学課程入学▶平成7年3月：同大学医学部卒業▶平成7年5月：自治医科大学地域医療学入局▶平成9年5月～平成12年3月：静岡県国立湊病院派遣▶平成12年4月～平成13年3月：新潟県ゆきぐに大和病院派遣▶平成13年4月：自治医科大学地域医療学勤務▶平成15年4月：瀬棚町国保医科診療所派遣



明るくふれあ

主な仕事

[保健福祉]

高齢者の生活支援（訪問や除雪サービスなど）100万円 生活管理指導員派遣373万5千円 生きがい活動支援332万5千円
配食サービス事業238万9千円 ブルーベリー栽培（生きがい対策）5万円 老人居室整備資金の利子補給5万7千円 介護保険サービス利用者負担金の軽減助成7万2千円 世代間交流生きがい事業助成54万5千円 外出支援サービス事業103万1千円 家族介護用品支給36万円 家族介護手当の支給24万円 高齢者生活支援給付金35万1千円 老人クラブへの助成132万円 老人医療費助成137万5千円 檜山北部広域連合事業3,280万3千円 老人福祉施設入所者措置事業4,766万5千円 高齢者事業団育成助成167万円 寿大学の開催24万7千円 老人ホームの運営6,203万8千円 老人ホームの浴室等改修182万7千円 老人と母と子の家の水洗化等改修319万円 生活支援ハウスの建設1億3,266万円

[児童福祉]

乳幼児の医療費助成403万円 母子家庭などの医療費助成111万1千円 保育所の運営（瀬棚・馬場川・島歌）2,787万円 誕生祝い金 50万円 学童保育所の開設220万3千円

[障害者福祉]

人にやさしい家づくり助成30万円 心身障害者福祉2,891万2千円

[健康増進]

インフルエンザなどの感染症予防375万5千円 結核予防19万8千円 エキノコックス症予防12万5千円 乳幼児検診などの母子保健対策196万9千円 がん検診などの成人保健対策1,108万9千円

[総合的福祉対策増進と環境整備]

福祉バス運行355万9千円 在宅介護支援事業143万9千円 クリーンハウスの設置67万2千円 西方霊苑管理37万5千円 狩場葬斎組合負担金251万7千円 北部檜山衛生センター組合負担金7,214万3千円 公営温泉浴場の運営2,169万9千円

[南西沖地震復興支援]

災害援護資金の利子補給7万2千円 生活福祉資金の利子補給事業費3万7千円



1

1 平成15年度 整備路線（町道）	Z [本町8区] 町道臨港線側溝清掃工事：側溝清掃100m（福井さん～民宿マリンクラブの間）
	X [本町7区] 町道第2旭線防護柵改修工事：防護柵改修30m（役場裏～中学校の間）
	C [本町7区] 町道旭線改良舗装工事：舗装120m（東ハイヤー～浜口さんの間）
	V [島歌] 町道島歌線道路維持補修工事：路面整正260m



3

2 平成15年度市街地下水道工事予定箇所		
町有地	本町9区	海上保安署職員住宅～信金職員住宅
国道229号	三本杉	西村さん宅～中井さん宅
国道229号	三本杉	瀬棚橋～西村さん宅



2

本町9区に新しく 宅地分譲地を造成

定住対策として進めてきた宅地分譲地について、ほぼ完売に近いことから、本年度新たに本町9区地区（海上保安署職員住宅裏側）に宅地を造成し、持家住宅の建設促進と町外からの定住促進を進めて行きます。

町道3路線を整備

安全で快適な生活道路や被災時の迂回路として、今年度は3路線の町道を整備します。（1参照）

下水道整備の推進

平成7年度から進めている市街地の下水道事業は、平成12年度に一部を供用開始し、現在の加入（利用）戸数は、公共施設や一般住宅、民間アパートあわせて303戸となっております。

利用できる地区の皆さんが水洗化するための補助金や融資制度などもありますので、どうぞご利用ください。

なお、工事は本年度も引き続き進めていきます。（2参照）

下最内川橋を拡幅

下最内川橋は昭和44年に建設され、老朽化や塩害による腐食のほか、大型車両の交通量も多いことから、今年度、橋の幅を4mから6mへ拡幅し安全の確保を行います。

治山工事を計画的に実施

がけ崩れや地すべりなどから、人や家、道路を守るため毎年計画的に治山工事を行っています。今年度予定している仕事は次のとおりとなっています。（3参照）

3 平成15年度治山工事予定箇所		
国の仕事	元浦2区	古畑ヒデ子さん宅裏
	元浦4区	細川義雄さん宅裏
	島歌2区	笠原商店裏
道の仕事	西大里2区	老人ホームの裏
	北島歌1区	畑野さん宅裏
	北島歌1区	美谷青い海の家裏

快適で美しい 環境をつくる

豊かな自然環境を守り育て、町民の皆さんが快適に暮らせる生活環境や基盤整備を進めます

主な仕事

[住宅環境]

町営住宅の水洗化（本町6区ぼぷら団地2棟4戸）250万円 定住者住宅の屋根、床改修152万円 本町9区宅地分譲地造成事業130万円

[交通安全]

交通安全対策（指導員・活動団体支援・啓発など）184万8千円

[防災]

災害物資の備蓄123万7千円 防災行政無線の管理202万4千円 馬場川防潮水門の管理680万9千円

[消防]

消防職員の制服購入75万9千円 消防学校派遣202万4千円 婦人防火クラブの活動助成10万円 救急用の備品整備15万8千円

[町民の負担軽減]

函館バス運行補助188万6千円 街路灯の電気料などを助成385万円

[町営バス]

町営バスの運行1,207万1千円

[地域交流活動]

花のまちづくり（国道花壇づくり）130万円 町民センター屋上の改修340万円 フェリーターミナルの内装改修136万5千円

[道路・河川・海岸・下水道]

町道島歌線の道路維持補修277万円 町道第2旭線防護柵改修53万5千円 町道の除排雪委託3,200万円 町道旭線の改良舗装160万円 町道の防雪柵設置、撤去1,163万円 第1最内川の天然河岸嵩上110万円 下最内川橋の拡幅1,300万円 下水道の整備7,384万8千円



4

交通安全 街頭指導員を設置

交通安全対策については、交通安全指導員の皆さんを中心に地域ぐるみで事故防止に努めています。今年4月より新たに交通安全街頭指導員（本町4区・池田仁美さん）を配置し、人通りが多い朝の登校時の交通安全啓発を行っていきます。

	1	
4	3	2

- ① 拡幅工事を行う下最内川橋
- ② 本町9区の宅地分譲予定地
- ③ 整備が進む下水道事業
- ④ 交通安全街頭指導員による朝の街頭啓発

クリーンな 環境づくりを推進

クリーンな環境づくりについては、ゴミ処理などの環境美化対策の徹底はもちろんのこと、国道緑地帯の花壇造成のように、きれいな町並みづくりや公園整備、そして、まちづくりの柱として進めている洋上風力発電などの自然エネルギーの活用、有機農業の推進、安全でおいしい食べ物づくり、健康づくりなどそれぞれが連携した取り組みを進めていきます。



**荻野吟子生誕の地
埼玉県妻沼町を訪問**

日本公認女医第1号「荻野吟子」生誕の地、埼玉県「妻沼町」と開業の地、「瀬棚町」とは荻野吟子がとりもつ縁で、さまざまな交流活動を行っております。

昨年度は妻沼町からの訪問団が瀬棚町を訪れましたが、本年度は、8月頃に瀬棚町より訪問団（小学5・6年生10名程度と成人3名程度）を派遣し、妻沼町の皆さんとの交流を行います。

**地域と密着した
社会教育事業**

自らが自由に学ぶ機会づくりとして、社会教育の果たす役割は、とても大切なものであることから、毎年、さまざまな事業や団体活動への助成などを行っていることとです。

昨年は、町民皆さんによる手作りの「パークゴルフ場」も完成し、憩いの場としてたくさんの方に利用いただきました。今後についてもさらに充実したコースづくりを進めていきます。

学校週5日制の対応事業として実施している小学生対象の体験講座「わんぱく探偵団」は、今年、少年科学者講座やオリエ

主な仕事

[教育環境]

学校の給食2,972万6千円 給食センターの施設整備135万円 教員の研修83万4千円

[小中学校整備]

瀬棚小学校体育館器具室の階段拡幅17万円 島歌小学校校舎の外壁改修92万4千円 中学校生徒用玄関のロードヒーティング改修70万円 パソコンなどの活用194万9千円

[高等学校整備]

パソコンなどの情報処理機器及び設備の充実900万8千円 ハンフォードなどへの見学旅行88万6千円 姉妹校（ハンフォード東・西）との交流10万円

[健康管理]

児童生徒の健康管理（健康診断など）146万1千円 教職員の健康管理（健康診断など）62万7千円

[教員住宅]

教員住宅の維持及び整備など759万1千円

[社会教育]

わんぱく探偵団の開催4万5千円 団体活動育成助成（少年、青年、女性、文化）186万円 文化祭実行委員会の活動14万円 成人式の開催15万円

[スポーツ振興]

団体活動育成助成118万円 はっちゃんフェスティバルの開催50万円 B&G海洋体験学習派遣61万1千円 B&G北海道大会派遣31万9千円 海洋センタープールサイド用マット整備及び連絡通路の改修133万9千円 テニスコート照明ランプ取替42万円

[父母負担軽減]

バス通学定期運賃の助成（瀬棚～檜山北高）124万2千円、（市街～須築）49万5千円 児童生徒就学援助227万2千円 スクールバスの運行委託1,011万円 連合PTA活動の助成11万円

[交流]

モニターツアーの実施45万円 妻沼町訪問団の派遣81万円 ピアノコンサートなど国際交流111万円

未来を拓く人をつくる

学校、家庭、地域の連携により、明るい未来を切り拓く個性豊かな人づくりを進めます

- ①中高生のボランティアも参加協力している「わんぱく探偵団」
- ②妻沼町の友達と住所交換する瀬棚町の子どもたち
- ③農作業を体験するモニターツアー参加者

1	
3	2

瀬棚町での産業体験を通じ、地場産品のPRやモニタリングのほか、地域間交流を目的として、都市部の青年などを対象に「北海道せたなモニターツアー」を行います。

この「北海道せたなモニターツアー」も今年度で9回目となりますが、今後もツアー参加者で組織する「北海道瀬棚応援団」との交流や神奈川県大和市で行われる南林間フェスティバルへの参加（応援団の協力）など、さまざまな形で地域間交流を進めていきます。

今年で9回目となる せたなモニターツアー

センターリングなど、実際に体験し、考え、元気に遊べる7つのメニューが予定されています。このほかにも随時、各種講座や体験事業など、自らが自由に学ぶ機会づくりを行っていきます。

また、地域づくり、人づくりの原点である青少年、女性、高齢者、文化、スポーツなどといった各団体の活動について、それぞれの活動がまちづくりに幅広く反映されることを期待し、本年度も各団体への支援や施設整備などに配慮してまいります。



まちづくりの主役は：

「市町村合併問題」については、瀬棚町、そしてこの地域の将来がどうあるべきか。檜山北部4町での具体的な議論も始まりました。議会ははじめ町内の協議会などで検討を重ね、その情報を的確に皆さんへお知らせしながら進めていきますが、まずは単独で生き残るための可能性を探ることが重要であり、瀬棚町が積極的に進めている特色あるまちづくりや瀬棚町の持つ優位性を生かすことが大切と考えております。

北海道にふさわしい、この地域に合った形を見出すことが、まさに地方分権の真の姿だと思えます。

そのためには、今以上に共に知恵と力を出し合い、この大き

な荒波を乗り越えていかなければなりません。

まちづくりの起爆剤とも言える「コミュニティビジネス」の定着は、地域産業再生の鍵を握っています。これからは、一人ひとりが持つ個性や能力を存分に発揮して、自らの未来を切り拓いていく時代です。こうした取り組みが、瀬棚の魅力を引き出す原動力になるのではないのでしょうか。

まちづくりの主役は、町民皆さんです。共にこの町を創っていくためにも、常にお互いの情報交換を大切にしながら、さまざまなネットワークによる人の交流や地域コミュニティの充実を図り、課題の解決に、そして新たな地域づくりを進めていきましょう。

経費の削減・見直しに引き続き努めていきます

■現在の財政状況を考え、普段より通常の業務の中で大胆に切りつめ見直しをするなどして、経費の節減を行っています。

■また、広報4月号でお知らせしたとおり、町長はじめ、職員や議員などの給与や手当、旅費などの引き下げ、見直しといった経費の削減も行っていきます。

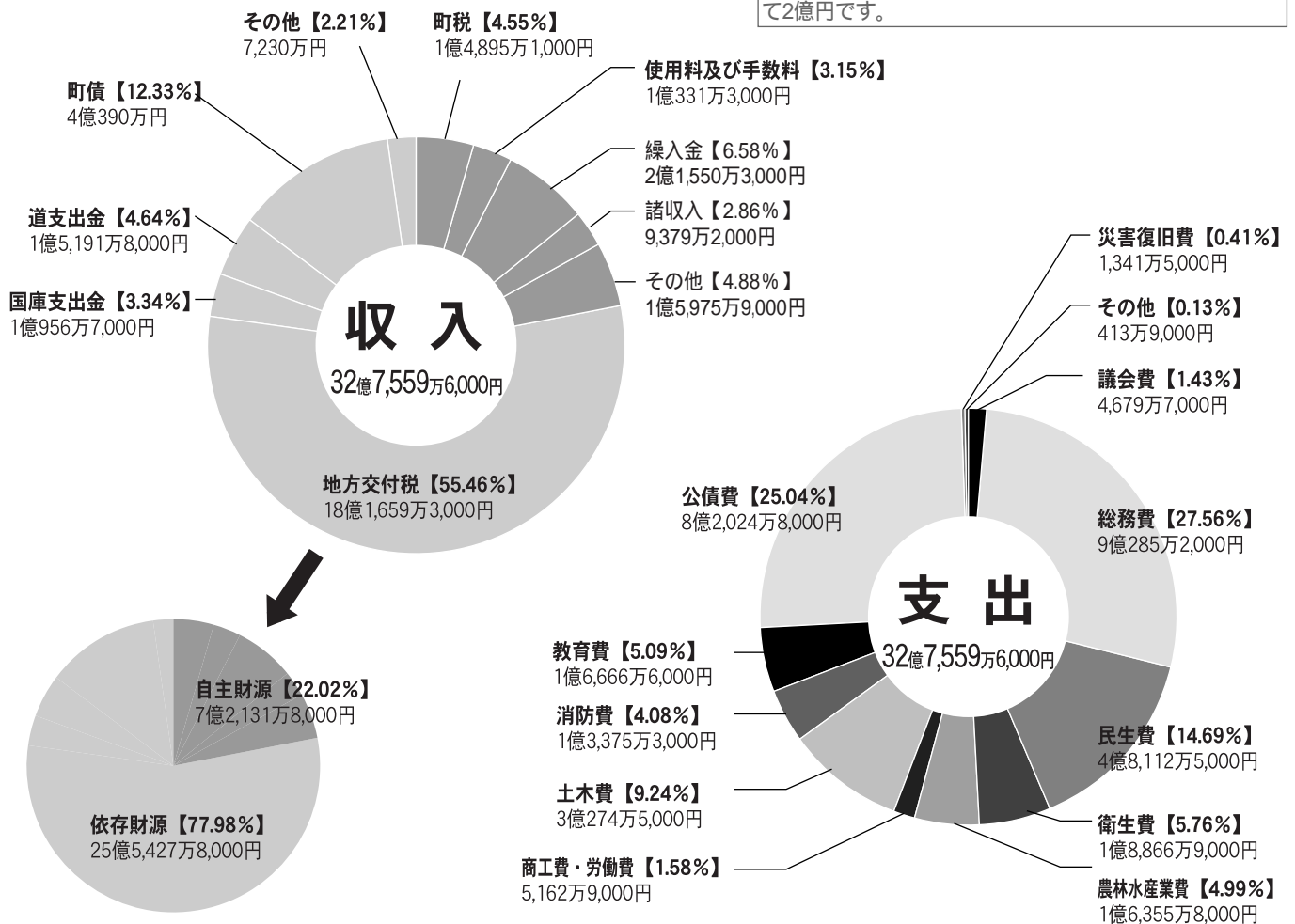
■引き続き経費の節減及び見直しに努めていきますので、町民の皆さんにおかれましてもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



収入【前年度比】

自主財源	町	税	町民税・固定資産税・たばこ税など	1億4,895万1,000円	【 461万8,000円】
	使用料・手数料		施設の使用料・各種証明手数料など	1億331万3,000円	【 337万1,000円】
	繰入金		積み立て基金から取り崩して使われる財源	2億1,550万3,000円	【 2,517万7,000円】
	諸収入		学校給食費・農畜産物加工品売り払い収入など	9,379万2,000円	【554万8,000円】
	その他		繰越金・財産収入・分担金及び負担金	1億5,975万9,000円	【 3,188万8,000円】
依存財源	地方交付税		国税から一定の割合で交付される財源	18億1,659万3,000円	【 1億3,240万9,000円】
	国庫支出金		特定の事業に対して国から交付される財源	1億956万7,000円	【4,413万円】
	道支出金		特定の事業に対して道から交付される財源	1億5,191万8,000円	【3,260万4,000円】
	町債		大きな事業を行うための借入金	4億390万円	【1億5,670万円】
	その他		地方譲与税など	7,230万円	【330万円】

平成13年度から国の財政難により地方交付税の一部が減額され、赤字地方債の発行が求められました。額にして2億円です。



支出【前年度比】

議会	比	議会の運営にかかる経費	4,679万7,000円	【 586万7,000円】
総務	費	職員人件費・一般事務・施設管理費など	9億285万2,000円	【 3,083万円】
民生	費	福祉や学童保育などの経費	4億8,112万5,000円	【1億8,243万7,000円】
衛生	費	予防接種、ゴミ・し尿の処理など	1億8,866万9,000円	【 12万8,000円】
農林水産業	費	農林水産業振興のための基盤整備や補助	1億6,355万8,000円	【 6,008万円】
商工費・労働	費	商工業の振興、勤労者のための経費	5,162万9,000円	【 1,278万3,000円】
土木	費	道路・河川などの整備にかかる費用	3億274万5,000円	【 2,257万3,000円】
消防	費	防災施設の整備、消防業務にかかる経費	1億3,375万3,000円	【 540万2,000円】
教育	費	学校教育や文化、スポーツの振興など	1億6,666万6,000円	【 1,966万2,000円】
公債	費	借入金（町債）の返済費	8億2,024万8,000円	【536万9,000円】
災害復旧	費	道路や河川の災害復旧にかかる経費	1,341万5,000円	【1,341万5,000円】
その他		諸支出金、予備費	413万9,000円	【92万3,000円】